

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
あくなき探求奨学金
2026 年度 募集要項

本制度は、2026 年 4 月に修士課程に進学する学部生を対象にするもので、修士進学時に進学準備金を一括支給し、修士進学後には奨学金を支給するものです。

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団あくなき探求奨学金は、
次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ グローバルな視野をもち社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者
- ・ 当財団設立者の理念を理解する者

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

<https://sisf.or.jp>

1. 応募資格

下記のすべてに該当すること

- ① 日本国籍を有すること
- ② 応募時に指定大学の学部・に在籍し、2026 年 4 月に大学院修士課程に進学が決定または内定していること（専門職大学院は除く）
 - ※ 進学する大学院は指定大学以外でも可。但し、関東 7 都県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県）の大学院に限る。
 - ※ 決定又は内定している大学以外の大学院受験予定がある場合は、必ず申請書に記入のこと。記入されていない大学の修士課程への進学は無効とする。
- ③ 指定大学の推薦を受けること
- ④ 大学院進学・の目的及び大学院での研究に意欲的に取り組む意思が明確であり、博士後期課程進学を視野に入れていること
- ⑤ 奨学金受給時期（修士課程時）に、他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（貸与奨学金及び授業料免除、又は授業料免除を目的とする奨学金は可）。
- ⑥ 学業・研究に支障のない英語力を有すること。
- ⑦ 当財団設立者（佐藤陽）の理念を理解し、グローバルな視野をもち社会貢献に積極的であること
- ⑧ 奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする当財団の交流会に必ず出席できること（年 6 回、主に東京で開催、交通費支給）
- ⑨ 奨学支援期間終了後も SATOM（当財団の卒業生の総称）として財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること

2. 推薦人数（上限）

2 名

3. 採用人数

約 10 名

4. 支援内容

1) 進学準備金 48 万円

支給時期 2026 年 4 月（修士進学時）

2) 修士に進学後、下記の奨学金と補助金を支給

① 奨学金： 月額 120,000 円

支給期間 2026 年 4 月～2028 年 3 月 （2 年間）

支給方法 2 ヶ月に一度、2 ヶ月分を本人名義の口座に振込

② 補助金： 申請に基づき、補助金を支給

・ 授業料等補助金 年額 100 万円を上限（大学に授業料免除申請をし、全額免除にならなかった奨学生が対象）

・ 学会出席補助金 年額 20 万円を上限（前年度未受給分の繰越し可）

5. 推薦方法・書類締切

大学の担当部署を窓口として、推薦する学生の応募書類を下記期日までに当財団宛にメールにて送付してください。

書類締切： 2025 年 10 月 8 日（水）正午必着

書類送付先： sisf@sato-global.com

・ 提出書類は PDF 化した後、ファイルが明瞭に判読できることをご確認ください。

・ 解像度：300dpi、別紙 1-②申請書はカラー PDF、その他の書類は白黒 PDF にてご対応ください。

- ・採用決定後は応募書類原本を提出していただきますので、合否が分かるまで原本を保管願います。

6. 提出書類（※は当財団所定用紙使用）

1	大学推薦書	別紙 1-① ※	大学記入
2	申請書	別紙 1-② ※	本人自筆 別紙資料「選考用 GPA の算出方法について」を参照
3	指導教員推薦書	別紙 2 ※	指導教員記入（できれば自筆）
4	エッセイ	別紙 3 ※	自筆
5	卒論の概論	A4 用紙 1 枚	パソコン入力可
6	修士課程研究計画書	A4 用紙 1 枚	博士課程までを視野に入れること
7	学業成績証明書		高等専門学校からの編入生は高等専門学校からの成績表も提出すること
8	修士課程合格証明書		合格または内定を証明する書類

7. 選考及び結果スケジュール等

- ・ 書面選考 2025 年 11 月上旬までに選考結果を指定大学宛てに通知します。
- ・ 面接選考 2025 年 11 月 15 日（土）又は 11 月 16 日（日）オンラインにて実施
- ・ 面接結果 11 月下旬 指定大学宛てに通知します。

※合格した学生は、認証式（2025 年 12 月 6 日（土）東京で開催）の出席が必須です。

8. 留意事項

当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金が停止されたり奨学生資格を失ったりすることがあります。事前にホームページで「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。

9. 個人情報の保護について

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

《問い合わせ先》

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局 〈あくなき探求〉係

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN

TEL : 03-6435-3388

FAX : 03-6435-3165

E-mail : sisf@sato-global.com

《選考用 GPA の算出方法》

- 1) 在籍課程の直近までの学業成績を、以下の〈換算表〉を用いて、在籍大学の成績評価方法のパターンにより「選考用評価」に換算してください（例：大学の評価法がパターン 2 で成績評語が A の場合は、選考用評価は G3）。
- 2) 成績の段階評価がなされていない「認定」等の科目や、卒業に必要な単位には算入されない科目（教職科目や自由科目など）は計算（分母および分子）から除外してください。
- 3) 下記〈選考用 GPA 計算式〉により選考用 GPA 値を算出してください（小数点第 3 位を四捨五入）。

※ 大学によって GPA の算出方法が異なるので、まず在籍大学の評価方法を確認し、必ず自分で成績表を確認しながら、G4~G0 の各単位数を数え、上記 1)~3) の方法により選考用 GPA を算出してください（大学の GPA とは数値が一致しないことがあります）。

※ 選考用 GPA の算出において誤りがあった場合は、「書類不備」の扱いとなりますので慎重に計算してください。

〈選考用 GPA 計算式〉

$$\frac{(\text{「G4 の単位数」} \times 4 + \text{「G3 の単位数」} \times 3 + \text{「G2 の単位数」} \times 2 + \text{「G1 の単位数」} \times 1 + \text{「G0 の単位数」} \times 0)}{(\text{「G4 の単位数」} + \text{「G3 の単位数」} + \text{「G2 の単位数」} + \text{「G1 の単位数」} + \text{「G0 の単位数」})}$$

〈換算表〉

選考用評価	G4	G3	G2	G1	G0
パターン 1 (素点評価)	100~90 点	89~80 点	79~70 点	69~60 点	59 点以下
パターン 2 (5 段階評価： 最高評価 S)	S または A+、 秀、優上	A または優	B または良	C または可	F または不可
パターン 3 (5 段階評価： 最高評価 A)	A	B	C	D	F または不可
パターン 4 (多段階評価)	A-、B+、C+などの 6 段階以上の成績評語を用いる多段階評価の場合は、大学が定めているその成績評語に対応する点数範囲を参照し、点数をパターン 1 に当てはめて選考用評価としてください。 例：成績評語が B-で、大学が定めている B-の点数範囲が 74~70 の場合、選考用評価は G2 です。評語が C-で、その点数範囲が 60~55 の場合は G1、点数範囲が 59~54 の場合は G0 となります。				

受付番号

あくなき探求奨学金
大学推薦書

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
代表理事 藤田 昌子殿

大学名：

推薦者職名・氏名：

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団のあくなき探求奨学生候補者として、下記の学生を推薦
致します。

氏名		フリガナ			
生年月日		年 月 日			
学部・学科		学部 学科 年			
合格・内定済	進学先 大学院	大学		研究科 専攻	
	進学先 研究室名		指導教員名		
上記以外の 大学院を受験 する場合		大学 （合格発表： 年 月 日 予定）			
		大学 （合格発表： 年 月 日 予定）			

記入年月日： 20 年 月 日

担当部署

住所			
部署名			
担当者氏名			
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

申請書

氏名													
	パスポート記載の英文												
	住所												
	電話番号												
E-mail													
学歴	No.	期 間			学校名			専攻			経歴		
	1	年	月	から	高校						卒業・中退		
		年	月	まで									
	2	年	月	から							編入・入学		
		年	月	まで							卒業・中退		
3	年	月	から							編入・入学			
	年	月	まで							卒業・中退			
空白期間がある場合は、理由を記入													
選考用 GPA※記入必須				資格・免許			受賞歴			学内で所属する教育プログラム			
										なし ・ あり プログラム名 期間： 年 月 ～ 年 月			
語学力 (語学資格含) ※記入必須							海外経験 (留学・居住)						
(英語) 例:TOEIC800 点(2025 年 7 月受験)							(その他の言語)						
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に) ※記入必須							あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR※記入必須						
家庭状況	氏名		関係	年齢	現住所 (国・都市)			同居	勤務先・学校名 (課程)				
生計	家庭からの給付		仕送り、小遣い等		有 ・ 無				月額 円				
	アルバイト等収入		仕事内容						月額 円				
	住 居		実家 ・ 一人暮らし ・ その他 ()				一人住まい ・ () 人住まい		自己負担 月額 円				
奨学金等	受給中の奨学金等 有 (給付 ・ 貸与) ・ 無					名称		受給金額(月額)		受給開始～ 終了時期			
	併願中の奨学金等 有 (給付 ・ 貸与) ・ 無					名称		発表日					
年間授業料	現在 円					授 業 料 免 除		・受けている(下記に記入) ・受けていない					
						免 除 期 間		年 月 ～ 年 月					
						免 除 総 額		上記期間中の総額を記入 円					
	大学院進学以降 円					授 業 料 免 除 制 度		・あり ・なし ・分からない					
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)													
(例)〇〇大学助成金:年額●●万円													

指導教員推薦書

記入者	大学名	所属
	職名	連絡先 (TEL)
	氏名 (自署)	記入日 年 月 日

学生氏名 _____

1. この学生を何年指導していますか。 (年)
この学生との関わりを具体的に教えてください。((例)学部で社会学を指導している学生等)

2. この学生の「研究者としての資質」と「研究者として必要な語学力」について教えてください。

3. 推薦文

- ・ 推薦書は選考において重視します。できるだけ手書きで記入してください。
- ・ 作成後、PDF にして学生課に送信してください。あるいは、厳封にて学生課に郵送してください。
- ・ 日本語以外での記入の場合は、和訳を添付してください。

エッセイ

下記の三つのテーマに即して、自筆で書いてください。A4 用紙 1 枚

- ①将来の夢(研究を社会のためにどう生かすか) ②進学先大学院を選んだ理由
③財団の支援によって実現できること

氏 名: _____

記入日： 年 月 日

[illegible]